科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電気電子4年	科目コード	47201140
科目名	国語Ⅳ　Japanese Ⅳ				
担当教員	小池　博明				
単位数（時間数）	必修　前期　1単位　（30時間）	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	実践を通して，コミュニケーション技術の養成に努める．				
先修科目	国語Ⅲ				
後修科目					
備考	・国語辞典は，必ず持参すること． ・課題となる小論文は，ワープロソフトで作成する．				

	授業項目	時間	内容
1	ガイダンス	2	・授業を受けるにあたり必要な事を述べる．
2	語彙①　同音異義語・同訓異義語	2	・同音異義語・同訓異義語の語彙力を高める．
3	語彙②　四字熟語・ことわざ・慣用句	2	・四字熟語・ことわざ・慣用句の語彙力を高める．
4	敬語（語彙・敬語に関する筆記試験を含む）	6	・日常生活で必要な敬語を理解する． ・最後に，これまで学習した語彙・敬語に関する筆記試験も行う．
5	人前で話す心構えと留意点	2	・多くの人を相手に話す際に，留意すべき点について，理解する．
6	課題１　１分間スピーチ	6	・興味ある科学技術などについて，適切な情報を収集し，１分間で発表する． ・他人の話を理解し,意見を述べる．
7	文章の基本①　書きことば・文章構成の基本	2	・書き言葉と話し言葉の違いを理解する． ・文章構成の基本を理解する．
8	文章の基本②　正確でわかりやすい文章を書くには	2	・１文を短くし，正確でわかりやすい表現ができる．
9	課題２　意見文を書く	6	・これまで学習したことがらを踏まえて，図表などを用いながら,自らの意見を正確にわかりやすく相手に伝える．

学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	・相手（聞き手・読み手）に伝えたいことを，適切に表現することができる． ・話し手に不快感を与えずに，その話を聞くことができる．
成績評価	語彙，敬語に関する試験（25%）・課題１（25%）・課題２（50%） 100点満点により評価し，6割以上を獲得した者を合格とする．
教材	『大学生のための日本語表現実践ノート』（風間書房）・プリント・国語辞典
オフィスアワー	月曜日16時～17時．　教員室：管理・一般科棟3階 上記に関わらず，適宜質問などに応じる．